



公益社団法人

日本語教育学会

2018 年度支部活動【中部支部】開催報告 「外国人児童生徒への日本語指導を考える-初期指導とその次の段階へ-」

主催：公益社団法人日本語教育学会

共催：津市教育委員会

協力：平成 30 年度文部科学省委託事業「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」事業調査研究部会

開催日：2018 年 8 月 24 日（土）13:00～16:40

会場：津市センターパレスホール

参加者：100 名（会員 8 名・一般 92 名）

台風の影響で開催も危ぶまれた中、三重県での初開催の支部集會に 100 名と多くの方にご参加いただきました。中部地方において大きな課題となっている外国人児童生徒に焦点を当て、「外国人児童生徒への日本語指導を考える-初期指導とその次の段階へ-」というテーマで開催しました。文部科学省委託事業「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」事業調査研究部会のご協力を得、講師として浜田麻里先生（京都教育大学）、大菅佐妃子先生（京都教育委員会）をお招きしました。

浜田先生には「初めて日本語指導担当になった先生のための日本語指導の理論と実際-初期段階の指導-」、大菅先生には「在籍学級での外国人児童生徒の支援-初期適応日本語終了後の子どものために-」という題目で、理論的な点と具体的な指導を踏まえ、ご講演いただきました。その後の 2 グループに分かれてのワークショップでは、実際に対象とする子ども達を想定し、日本語指導案作成に取り組み、参加者同士の積極的な交流が見られました。

「初期指導とその次の段階へ」という幅のある範囲での日本語指導を取り上げたため、講師の先生方には短時間で内容をまとめていただくことになってしまいましたが、参加者からは「初期」と「次の段階」の関係性やそれぞれの重要性を理解することができたという声も多く、本支部集會の目的は概ね達成できたのではないかと思います。一方、会場の都合で 2 つのワークショップが同室実施となり、講師の先生の声が聞こえにくいなど、先生方・参加者の方にはご迷惑をおかけしました。

今回の開催につきましては、津市教育委員会には事前の周知活動、運営に大変ご尽力いただきました。また、当日も関係者の皆様、参加者の皆様より多大なご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

（報告者：支部活動委員 林朝子）



浜田先生ご講演



大菅先生ご講演



ワークショップ